

※2023年 5 月 2 日～2025年 5 月 1 日の期間

教育研究業績書

氏名	くろだ じゅんや 黒田 淳哉	職名	准教授（環境情報学士）		
専門分野	照明技術				
所属学会	照明学会、日本デザイン学会				
担当科目	音響照明概論、音響照明技術、メディア概観、感性と創造、地域社会とメディア情報、イベント制作演習、入門演習 a、入門演習 b、環境情報学概論I、環境情報学概論II、基礎演習 a、基礎演習 b、 専門演習 a、専門演習 b、専門演習 c、専門演習 d				
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		概 要			
1. 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）		座学の講義では、学生の学習意欲と集中力を高めるために、積極的に質問を投げかけるなど、講義中にコミュニケーションの時間を意図的に設けた。また、講義内容の理解度を把握するため、毎回小テストやレポートを実施し、学生の到達度を確認しながら必要な改善点を把握できるよう工夫した。さらに、講義冒頭にはニュースなどから関連する話題を紹介し、講義内容を社会の出来事と結びつけて考えられるようにすることで、知識の習得にとどまらず、広い視野での理解を促した。 演習科目においては、深い理解と自己成長を目指し、アクティブラーニングとルーブリック評価を導入。学生が主体的に課題に取り組み、自ら考え、試行錯誤しながら答えを導き出す経験を積めるような学習環境づくりに努めた。			
2. 作成した教科書、教材、参考書		担当するすべての講義において、教材資料は自ら作成している。これらの資料はすべて Moodle（e ラーニングプラットフォーム）にアップロードし、学生が講義時間外でも学習できるよう配慮した。			
3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし			
4. その他教育活動上特記すべき事項		模擬講義や進路ガイダンス等高校生に対する教育活動を実施した。 ① オープンキャンパス模擬講義「光と環境」（2023 年 7 月） ② オープンキャンパス模擬講義「音と光のライブ演出技術」（2024 年 8 月） 地域企業と繋がりを深め、学生に対して実践的な学習機会の提供を行った。 ① 四日市市文化会館のイベント運営に関する連携（2023 年～現在） 2024 年度後学期 グッド・プラクティス賞 受賞			
II 研究活動					
論文					
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または 発表の年月	発行所、発表雑誌 （巻・号数）等の名称	編者・著者名 （共著のみ記入）	該当頁数
四日市市吉崎海岸の光害調査	単著	2023 年 10 月	四日市大学論集、第 36 巻第 1 号、四日市大学学会		101-109 頁
舞台照明における光の方向や角度の違いが印象に与える影響について	単著	2023 年 10 月	四日市大学論集、第 36 巻第 1 号、四日市大学学会		89-99 頁

芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員

氏名	くろだ じゅんや 黒田 淳哉		職名	准教授（環境情報学士）
展覧会・演奏・競技会等の名称	場所	開催日	発表・展示等の内容等	
森ゆに「秋の演奏会」	名古屋市千種文化小劇場	2023 年 10 月 21 日	シンガーソングライターでありピアニストでもある森湯ゆにさんが、名古屋市千種文化小劇場にて秋の演奏会を開催した。この公演において、照明プランニングとオペレーションを担当した。 会場である千種文化小劇場は、ステージが観客席の中央に配置された特異な構造を持ち、照明演出には一定の制約と工夫が求められた。限られた機材と吊り位置の中で、演奏者の世界観と会場全体の一体感を両立させるため、光の角度や色味、明暗のコントロールに細心の注意を払いつつ、柔らかに包み込むような照明演出を目指した。	